

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

Q46（水痘、外来部門感染対策、小児疾患）

水痘の患者は隔離室で待ってもらっていますが、隔離室に絵本があり、待っている間に絵本を触っています。その絵本に水痘の分泌液や患者の飛沫が付着している可能性があります。それら絵本など患者が直接接触する物への消毒は必要でしょうか？必要であればどの様にすればいいでしょうか？

A46

水痘は伝播力が強く、未感染者が多い小児を取り扱う施設では院内感染対策上大切な感染症です。

水痘は皮膚や口腔内に水疱疹をつくり、水疱内容物にウイルスがいるため、接触・飛沫による感染が起こります。水疱疹が多発している手で触ったり、他部位の水疱疹を手で触る等により、触った器物の表面に水痘帯状疱疹ウイルスが付着する可能性があります。一般に水痘帯状疱疹ウイルスの物理化学的抵抗性は弱く、器物表面に付着したウイルスは急速に失活していきます。実験室の器物表面につけた水痘帯状疱疹ウイルスを室温で30分間放置した場合、ウイルスの残存率は0.1%であったとの報告があります（文献）。汚染の不安がある器物の表面を酒精綿等で拭くことも効果はあります。隔離室には、絵本等をおかない方がよいと考えます。

一方、水痘は空気感染を起こす感染症であり、隔離室からの空気による伝播の防止が必要です。陰圧隔離室や排気用の高性能のフィルター等の設備が困難な状況であれば換気を行って下さい。その場合、隔離室の空気が待合室側に流れ込まないようにして、屋外に出すことが求められます。

Levin MJ, et al: Factors influencing quantitative isolation of varicella-zoster virus. Journal of Clinical Microbiology 19(6):880-883,1984.